

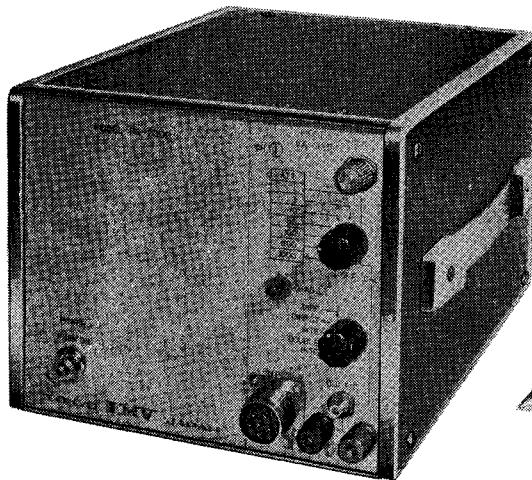
PROCEEDINGS OF THE JAPAN SOCIETY OF CIVIL ENGINEERS

# 土木学会論文報告集

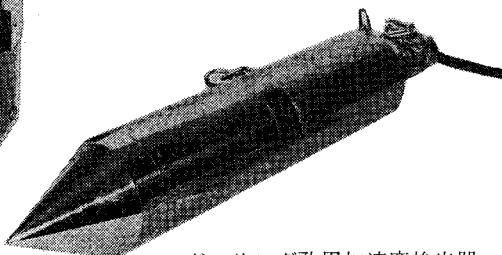
No. 201, 1972-5

不規則地震動に対する構造物の最大応答の 推定法について.....	龜田弘行	1
骨組構造に関する有限要素法の計算法的側面.....	上原七司	13
一様な断面棒の弾塑性ねじり解析.....	太田俊昭	23
鋼柱の座屈強度のばらつきにおよぼす残留 応力分布の影響について.....	青木徹彦 福本勝士	31
プレーシング材としての山形およびT形鋼 部材の圧縮強度と設計.....	宇佐美 福本	43
セメント固化体中 $^{137}\text{Cs}$ , $^{90}\text{Sr}$ , $^{60}\text{Co}$ の溶出 機構について.....	寺島泰 青山重 岩井久 上輝	51
有限振幅重複波の時間波形と越波量の相関特性.....	高田彰	61
水で満たされていない円形暗きょの取水量 について.....	上田尾 杉哲	77
三次元圧密の基礎理論.....	吉国洋	87
重力式防波堤などに適用するアスファルト マットに関する研究.....	加川道男	99
水工用アスファルト混合物のクリープ挙動 に関する研究.....	工藤忠夫 菅原照夫	113

# IMV ポーリング孔用地震計測装置 SW-9259



増幅器および電源部



ポーリング孔用加速度検出器

SW-9259加速度型地震計は、地上でも地中でも、地震計測が行えるように新しく設計された地震計です。検出器は水平方向と垂直方向の地震を地上と地中において検出する圧電型加速度検出器VP-9259H(V)を用いています。

地中の地震波形を観測するために、検出器設置用のボーリングを行い、このボーリング孔中に、水平方

向検出器を設置し、この出力を観測室等に設置されている増幅器で増幅します。出力波形を記録計等に接続することにより長期にわたって観測を行えるタイプになっています。

3素子、6素子の多点計測も可能になっており、記録計は同時に動作させることができます。この装置には自動起動装置を併用できます。



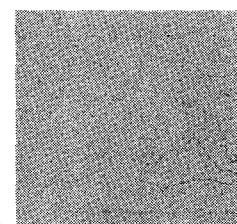
検出器埋設孔穿掘



検出器埋設中



検出器埋設完了 3ch



地震波形 6ch

# IMV

株式会社 國際機械振動研究所

〈カタログ・資料進呈〉

- 振動試験装置
- 音響計測装置
- 振動計測装置
- 周波数分析装置
- 振動解析装置
- 動的試験機
- 地震計測装置
- 電機計測装置

本社 / 大阪市北区野崎町48森ビル ☎ 06(312)1978㈹  
支社 / 東京都千代田区三崎町20の6 IMVビル ☎ 03(262)6311㈹  
営業所 / 大阪 ☎ 06(372)3296 ㈹ 名古屋 ☎ 052(251)7708・2778  
日立 ☎ 0294(52)3069  
工場 / 東京・大阪

# PROCEEDINGS OF THE JAPAN SOCIETY OF CIVIL ENGINEERS

No. 201, May 1972

---

## C O N T E N T S

- On Estimation of the Maximum Response of Structures Subjected to Random Earthquake Motion  
*By Hiroyuki Kameda* 1
- Computational Aspects of Finite Element Method for a Frame Structure  
*By Shichishi Uehara* 13
- Elasto-Plastic Torsional Analysis of Uniform Bars  
*By Toshiaki Ohta* 23
- On Scatter in Buckling Strength of Steel Columns—Effect of Residual Stress Distribution—  
*By Tetsuhiko Aoki and Yuhshi Fukumoto* 31
- Compressive Strength and Design of Bracing Members with Angle or Tee Section  
*By Tsutomu Usami and Yuhshi Fukumoto* 43
- On the Mechanism of Leaching of  $^{137}\text{Cs}$ ,  $^{90}\text{Sr}$  and  $^{60}\text{Co}$  from the Solidified with Cement  
*By Yutaka Terasima, Isao Aoyama, Shigehisa Iwai and Yoriteru Inoue* 51
- Wave Overtopping Quantity Correlated to the Surface Elevation of Finite Amplitude Clapotis  
*By Akira Takada* 61
- On the Quantity of Water Intaken from Infiltration Gallery Partially Filled with Water  
*By Toshihiko Ueda and Satoru Sugio* 77
- Fundamental Theory of Three-Dimensional Consolidation  
*By Hiroshi Yoshikuni* 87
- A Study of the Asphalt Mat Used for the Gravity-Type Breakwater  
*By Michio Kagawa* 99
- Study on Creep Behavior of Asphalt Mixtures in Hydraulic Engineweers  
*By Tadao Kudo and Teruo Sugawara* 113
- 

The Japan Society of Civil Engineers

Yotsuya 1-chome Shinjuku-ku, Tokyo  
JAPAN

# 土木学会論文報告集投稿要項要約

- 1. 投稿者**: 本会会員、ただし連名の場合は1人以上が会員であること。
- 2. 原稿提出期日**: 随時
- 3. 原稿の書き方について**: 土木学会投稿の手引き第3章参照。
  - 提出部数: 正原稿(図・表・写真とも)および複写3通。
  - 図表について: 正図はそのまま製版できるよう白か透明の紙に縮尺を考慮して必ずスミ入れする(線図・文字・符号などすべてスミ入れすること)。
  - 表は原則として活字で組むが、表の中に図が入る場合、複雑な表はすべてスミ入れするものとする。
- 4. 論文報告の長さ**: 論文報告1編の長さは原則として刷上り図表を含み10ページ以内とする。ただし、6ページまでの超過は認めるが、その費用はすべて著者の実費負担とする。
- 5. 和文要旨について**: 和文要旨は図・表・写真を含み刷り上り0.5ページ(800字~900字)として4部提出する。
- 6. 討議について**: 討議は土木学会論文報告集に掲載されたものを対象とし、論文報告集掲載後6カ月以内に限とする。
- 7. 査読について**: 査読は次の5部門で行なうので投稿原稿はどの部門に属するかを明記する。

第1部門: 応用力学・構造力学・構造工学・橋梁一般・鋼橋等

第2部門: 水理学・水門学・河川工学・港湾工学・海岸工学・発電水力・衛生工学等

第3部門: 土質力学・基礎工学・岩盤力学等

第4部門: 道路工学・鉄道工学・交通計画・都市計画・国土計画・測量等

第5部門: 土木材量・土木施工法・コンクリートおよび鉄筋コンクリート工学等

## 土木学会論文集編集委員

◎印主査 ○印幹事

委員長	前田幸雄	副委員長	◎久野悟郎	委員	椎木清美	委員	成田谷弘	之二弘彦
委員員	青柳史郎	委員員	大河原満	員	須賀亮三	員	新松松	洋正章元
々	青柳征夫	々	荻原国宏	々	木尾孝	々	井浦野	彦玄明
々	赤松惟	々	加来照俊	々	鈴木良	々	伯原	章元
々	○伊藤中央	々	柿崎博雄	々	高木英	々	宮原	弘幸
々	○池田尚治	々	川口昌宏	々	木尾不	々	森田	宏
々	石橋毅	々	金子光美	々	高木恒	々	守屋	孝
々	茨木龍雄	々	河島和男	々	高木恒	々	安田	雄
々	○稻葉誠一	々	工藤和男	々	中松岐	々	守山	幸
々	今岡正美	々	倉島和男	々	中村英	々	安吉	豊
々	岩崎敏男	々	小村敏	々	山村紀	々	吉田	能
々	○岩間滋	々	小池尉夫	々	中村良	々	安田	之進
々	遠田良喜	々	駒田敬一	々	長坂普	々	吉田	裕
々	宇井純	々	合田良実	々	義夫(総括)	々	○和渡	明行
々	上田勝基	々	沢口正俊	々	永井重	々		
々	小川裕章	々	佐藤敦久	々	波木守	々		
々	岡村庸	々	齊田登	々	波田凱夫	々		

## 土木学会論文報告集 No. 201

定価 450 円 (税 40 円)

昭和 47 年 5 月 15 日 印刷

昭和 47 年 5 月 20 日 発行

発行者 東京都新宿区四谷1丁目

社団 土木学会専務理事 下村肇

発行所 社団 法人 土木学会 郵便番号 160 東京都新宿区四谷1丁目 振替 東京 16828 番  
電話 (03) 351-5138

印刷所 東京都港区赤坂 1-3-6 技報堂